

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年11月8日(2012.11.8)

【公開番号】特開2010-282158(P2010-282158A)

【公開日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2009-137740(P2009-137740)

【国際特許分類】

G 0 3 B 27/62 (2006.01)

H 0 4 N 1/10 (2006.01)

H 0 4 N 1/107 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 27/62

H 0 4 N 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月25日(2012.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

図 1 と図 2 において、指示記号 1 で示したものは、例えば画像形成装置とも称せられる複写機である。この複写機 1 は、装置本体 2 と原稿圧着板 3 から成り、この装置本体 2 上のコンタクトガラス 4 上へ原稿（図示せず）を圧着させるために用いられる本発明に係る原稿圧着板開閉装置 5 は、とくに図 1 と図 2 に示したように、装置本体 2 の後部上端へ原稿圧着板 3 の後部を開閉可能に連結させるものである（図 1 の A）。尚、原稿圧着板 3 は、図示はしていないが公知構成の原稿自動送り装置付きのものと、そうでないものの二種類からなり、本発明に係る原稿圧着板開閉装置は、どちらの原稿圧着板にも適用できるものであるが、好ましくは原稿自動送り装置付きでない軽くてそれ自身が中折れするなどして厚物原稿にも対処できるように構成した原稿圧着板開閉装置である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

この原稿圧着板 3 の閉成状態から、コンタクトガラス 4 上へ原稿を載置するために、当該原稿圧着板 3 を開いて行くと、ヒンジピン 9 を支点到共に回転する支持部材 10 によって、揺動部 11 の回転制御手段 17 を構成するローラ 12 はスプリングガイド 15 を介して弾性手段 14 を若干押し込んで、その上面をスライドして移動し、図 6 に示したように、原稿圧着板 3 がコンタクトガラス 4、即ち、装置本体 2 に対して略 8°の開成角度になった時に、弾性手段 14 の中心作用線とヒンジピン 9 及びローラ 12 の中心を結ぶ直線が平行となるので、支持部材 10 はどちらの方向にも回動付勢されない状態になる。さらに原稿圧着板 3 を開くと、弾性手段 14 による付勢方向が反転して今度は原稿圧着板 3 を開成方向へ付勢して、図 7 に示したように、支持部 10 b のストッパ部 10 g が取付部材 7 の閉塞部 8 a へ当接するまで開かれる。尚、この 8°の開成角度に限定はない。その後、開いた原稿圧着板 3 は開成方向へ付勢された状態となるので、当該原稿圧着板 3 は閉成

方向へ自然落下することなく開成状態を保つことになる。この開成角度は実施例のもので略 50°であるが、この開成角度についても限定はない。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

次に、開いた原稿圧着板 3 を閉じる際には、略 8°までの閉成角度までに弾性手段 14 をローラ 12 を介して押し込む際の抵抗に遭遇するが、略 8°でヒンジピン 9 とローラ 12 の中心を結ぶ直線と、弾性手段 14 の作用中心線が平行となった以降は、弾性手段 14 がローラ 12 を上方の原稿圧着板 3 を閉じる方向へ押す弾力が作用して、原稿圧着板 3 は自重と弾性手段 14 の付勢力により自動的に閉じられる。

【手続補正 4】

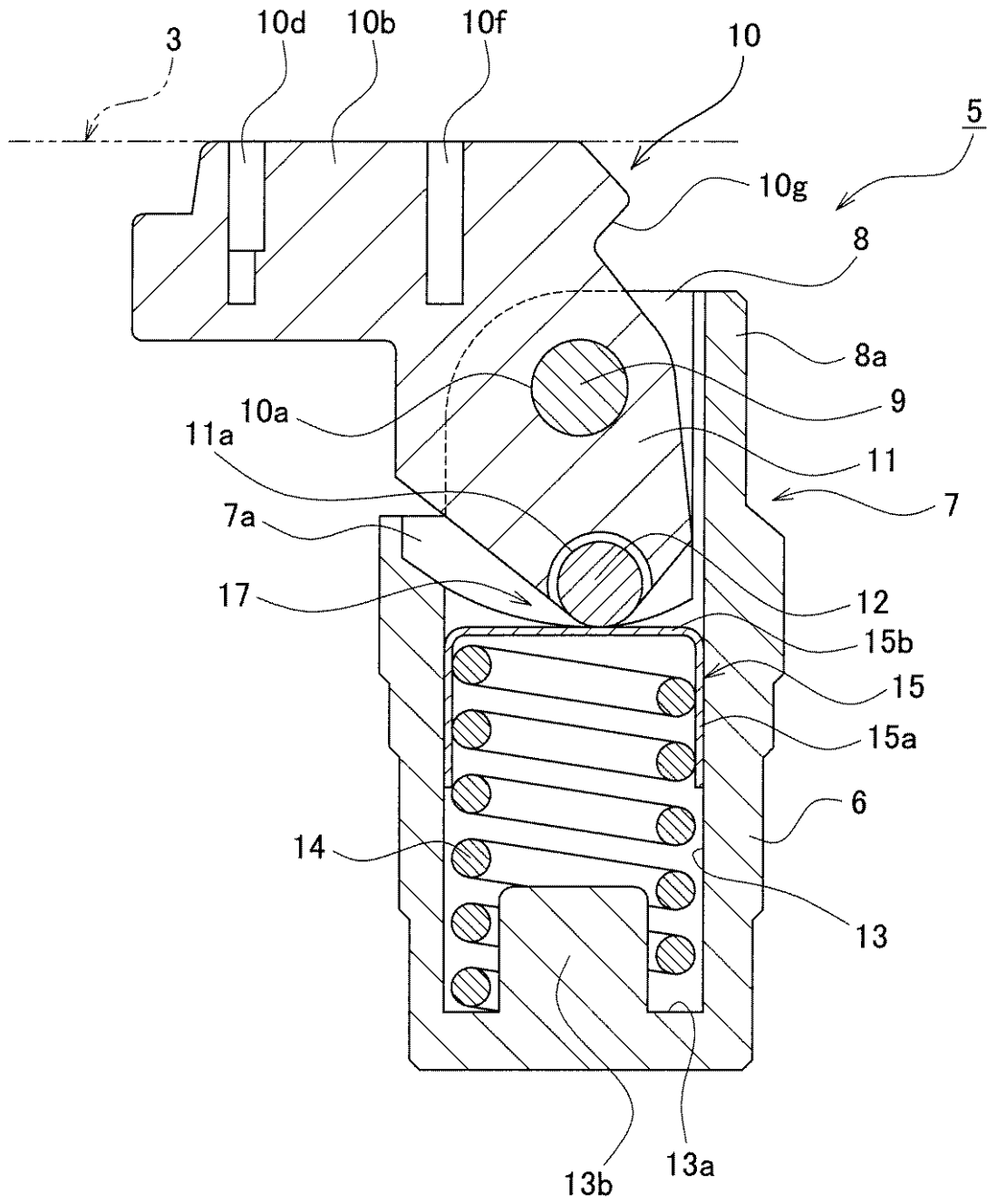
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 5】



【手続補正 5】

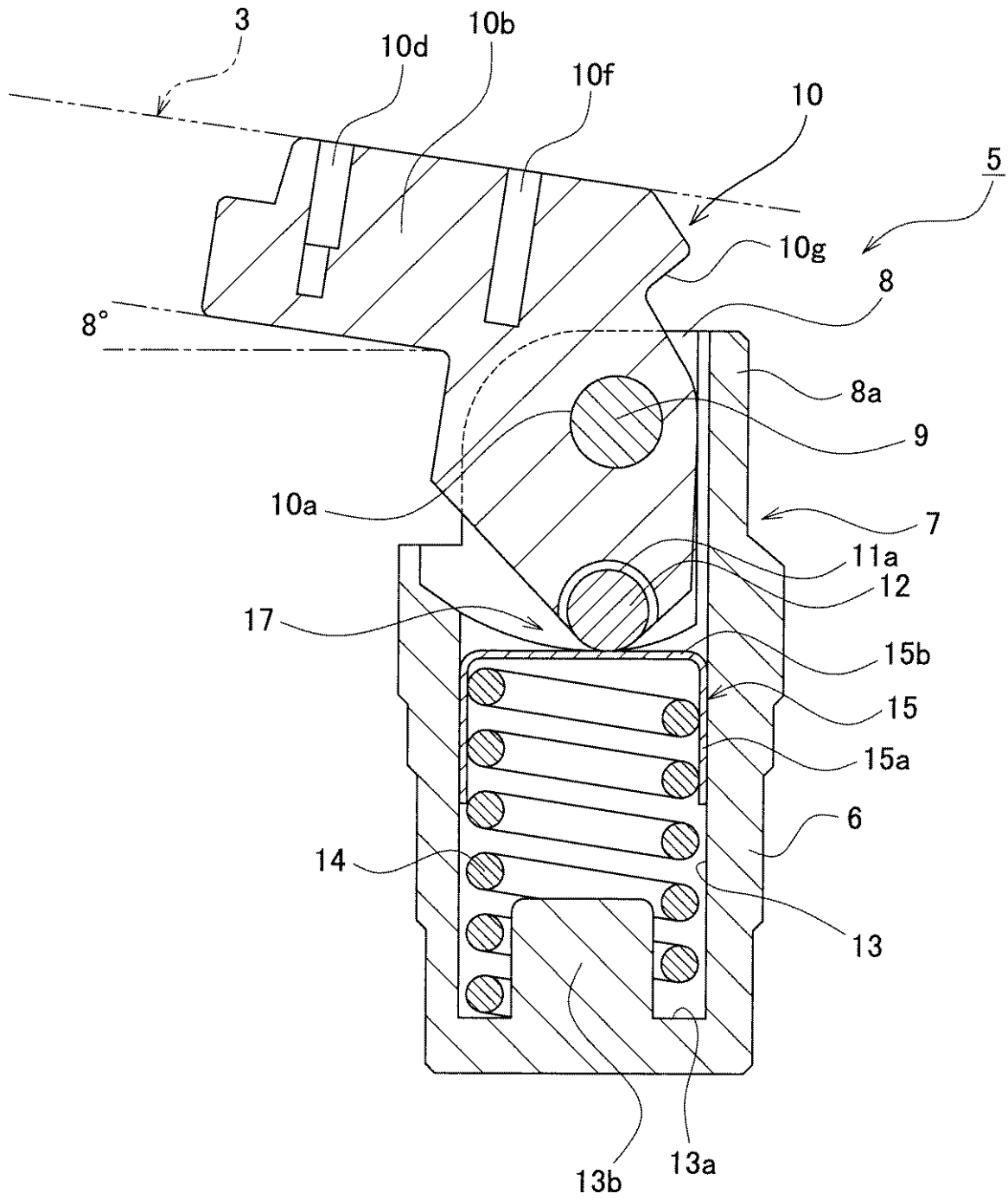
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 6】



【手続補正 6】

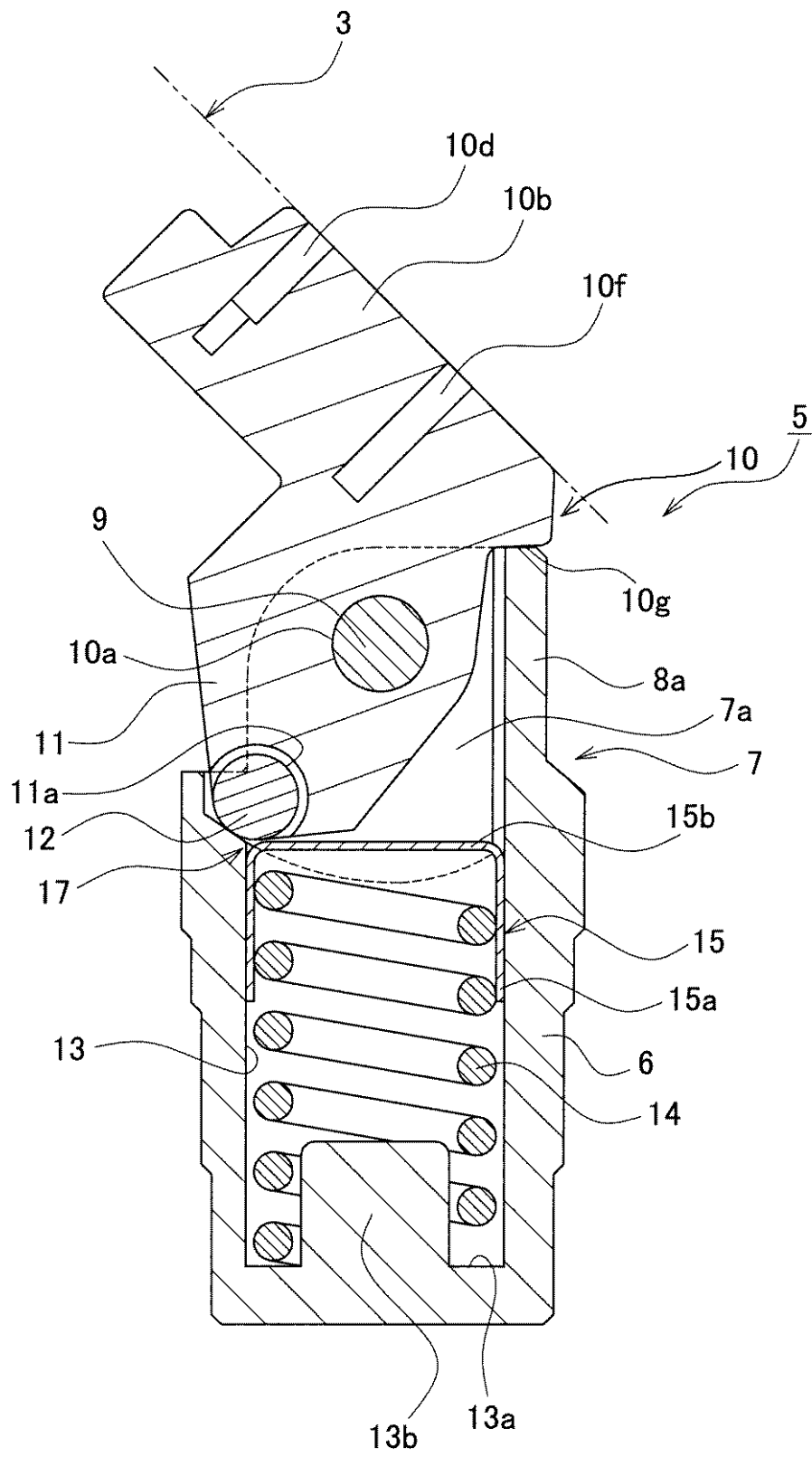
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 7】



【手続補正 7】

【補正対象書類名】図面

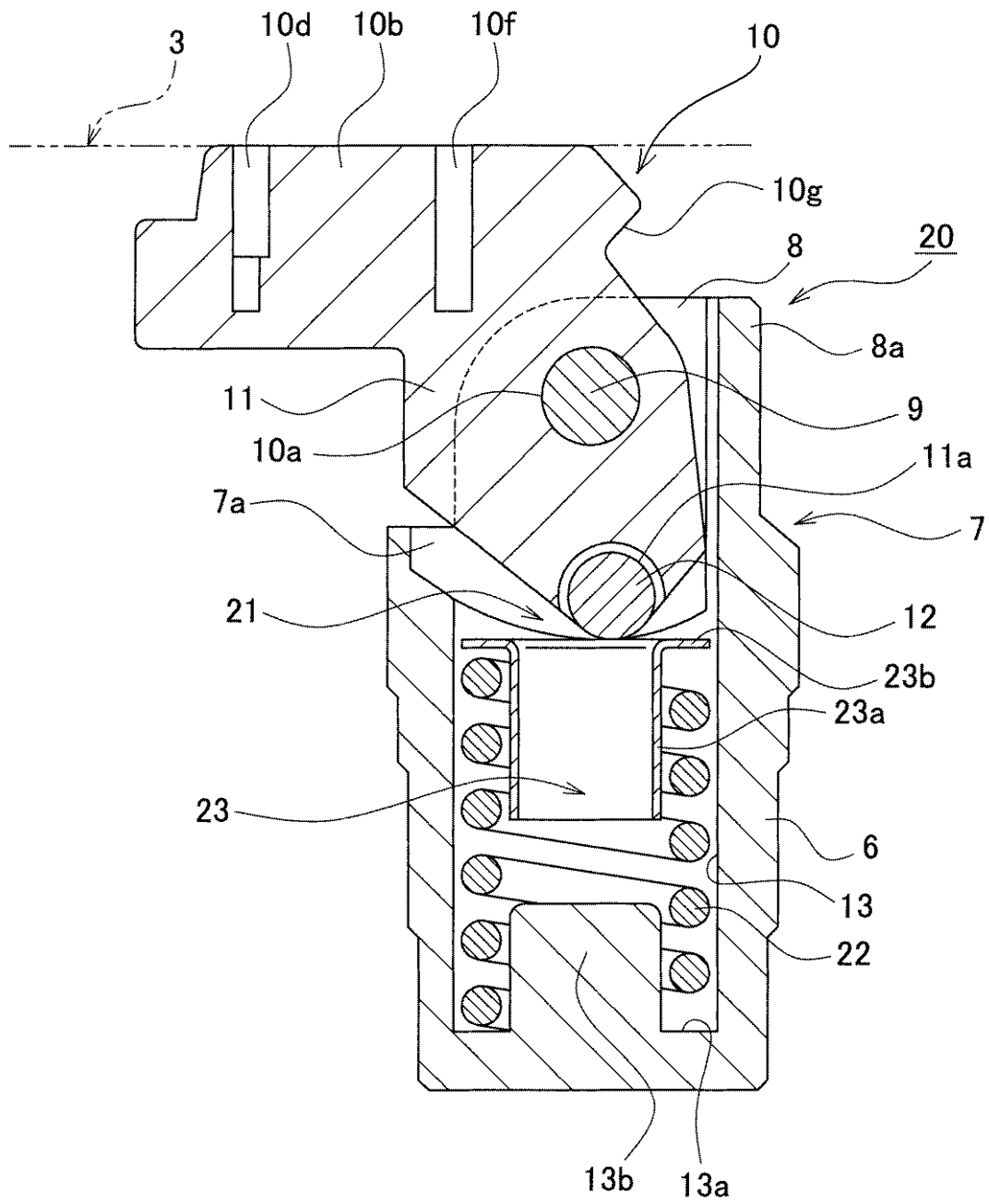
【補正対象項目名】図 9

【補正方法】変更

【補正の内容】



【図 9】



【手続補正 8】

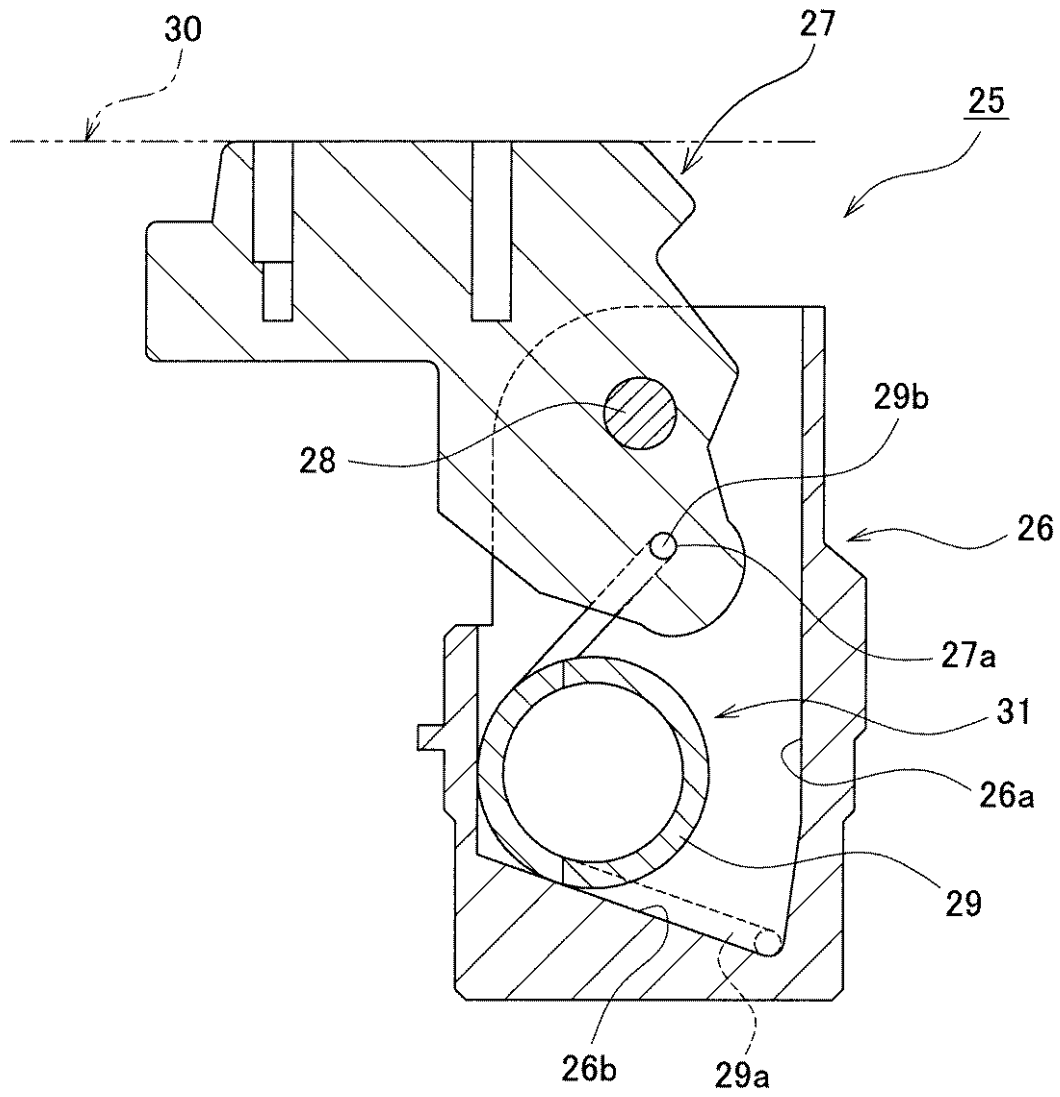
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 11】



【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

Fig. 1 is a cross-sectional view of a mechanical assembly. A central shaft (37) is shown with a series of rollers (39) mounted on it. A lever arm (38) is pivoted at one end (38a) and has a curved end (38b) that interacts with a component (36). A dashed line (41) indicates a reference plane. Other labels include 35, 39a, 39b, 40, and 37b.